



九中だより

令和3年12月1日 No.8

荒川区立第九中学校

校長 宮崎 剛

〒116-0012 荒川区東尾久2-23-5

TEL:03-3892-7834 / FAX:03-3819-6818

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/ARAKAWA-9/J/>

第九中学校 教育目標

本校が大切にしている「努力、行動力、団結力」を心に秘め、「自ら考え、行動できる生徒」を育成するため、以下の教育目標を定める。

進んで人格を磨く

進んで勉学に励む

進んで身体を鍛える

進んで奉仕に努める

「新しい生活様式の中で」

校長 宮崎 剛

令和3年も最後の月となりました。英語で12月は「December」ですが、語源はラテン語の「10番目の月」と言う意味です。なぜ12月なのに「10番目の月」なのでしょう。古代ローマでは1年を10ヶ月とし、3月を始めとしたからだそうです。

また、英語で数字の12は[twelve]、11は[eleven]と表し、13~19は[---teen]と表します。なぜ11と12だけは[-teen]が付かないのでしょうか。ゲルマン祖語起源説(手の指カウント説)によると、eleven/twelveはゲルマン祖語で「一つ余る/二つ余る」を意味するainalif/twalifに由来するそうです。指折り数えた時に足りない指の数を表現した言葉が数字自体を表すようになったわけです。昔も今もモノを数える基本は指折り(10進法)のようです。

このように、言葉の語源を調べるだけでも、新しい知識を得ることができます。本来、学びとは「なぜ?」の疑問から始まり、主体的に調べたり試したりすることで、新たな「気付き・発見!」があり、様々な知識や経験を活かして関連性などを「まとめる」の段階を経ていく活動です。本校では各教科において、調べ学習・探究的な学習を取り入れた言語活動の充実、ICT機器や図書館を利活用した主体的な学習態度の育成に努め、生徒の学力向上を図る授業づくりを推進しています。

さて、2学期を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染対策のために、1年清里移動教室(7月→9月延期)、区連合体育大会(9月)、2年下田移動教室(6月→9月延期)、3年修学旅行(5月→9月延期)、合唱祭(10月)などの行事が再延期か中止あるいは代替行事となりました。生徒の身になれば残念でならなかったでしょう。そんな状況下ではありましたが、生徒会役員選挙は、昨年度に引き続きオンラインによる立会演説会を実施しました。昨年度の反省を生かし、映像や音声のトラブルもなく実施できたことは、教育活動のオンライン化が推進された証と言えます。また、尾久地区「中学生の主張」発表会も尾久地区中学校(七中、尾久八幡中、原中、九中)間をオンラインで結び、各校で発表する形式で実施されました。それから、部活動の活動制限も解除され、他校との練習試合や大会参加もできるようになり、現在では生徒の活動も活発に行われています。ようやく生徒の本物の笑顔を見られるようになり嬉しい限りです。

2学期も残り僅かとなりました。今後も新しい生活様式の中で、学校生活が生徒一人一人にとって充実したものとなり、生徒の笑顔がたくさん溢れる安全・安心な学校づくりを目指して教育活動に取り組んでいきます。ご家庭のご理解とご協力を引き続きお願いします。

セーフティ教室

11月5日に尾久警察署に協力していただき、セーフティ教室を実施しました。今回は、「自転車の正しい乗り方」、「不審者が出たときの対応」について各教室にて実際起こりうる事例を視聴し、その後リモート(映像)による講演を聴きました。

- ・不審者にあってしまったら、大声を出し、まわりの人に知らせ、助けを求めましょう。
- ・自転車に乗るときは、自転車安全利用五則を守っていきましょう。

長距離走指導

元箱根駅伝走者の郷間先生による長距離走指導を11月5日から19日まで(全4回のうち3回)の毎週金曜日に実施しました。トラック1周をひとり4回ずつ繰り返すエンドレスリレーを行ったり、郷間先生の後ろを走って実際のレースペースを体感したりと、普段は辛い長距離走の授業を楽しむ生徒たちの姿が見られました。最終回の12月3日には男子1500メートル、女子1000メートルのタイム計測を行う予定です。これまでの練習の成果を発揮して、1秒でも記録を縮められるようがんばりましょう。



道徳授業地区公開講座

11月11日(木)に道徳授業地区公開講座が行われました。5校時の授業参観の後の意見交換会では、都教委指導主事 俵浩次郎先生がコーディネーターとなり、子どもたちが生活の中で悩みに直面する場面を描いたドラマ映像「それぞれの事情」を見て、子育ての悩みなど共有していきました。我が子から相談されたら、話を受け止めてどのようなアドバイスができるか大人の立場でもなかなか難しいというため息も聞かれ、周囲の大人が共に考える機会となりました。各クラスで行われた道徳の授業の様子を、この紙面上にてご紹介させていただきます。



◎ 1学年は、自分の心の弱さと向き合うことについて「銀色のシャープペンシル」を題材に考えました。

生徒コメントより

- ・主人公ははじめ、卓也のシャープペンをとって悪い人だと思っていました。でも考えていくうちに、とるのは悪いことだけど、そのことで主人公の心が成長しているのは良いことだと思い、なんだか複雑な気持ちになりました。
- ・自分も嘘をつくことがあり、この話に共感した。一つの言い違いで、とても後ろめたい気持ちになってしまうので、どんなことを言われても正直に話そうと思った。
- ・自分でも「ずるいな」とってしまうような行動をとってしまうことがある。けれど、してしまったのなら次する行動は何をしたら適切なのか考えることが大切だと思った。
- ・人間の心は弱いから自分の都合のいいように嘘をついてしまうので、そうしないようにしたい。
- ・悪いところを直せなかったとしても、反省したり、同じことを繰り返さないようにできたらいいと思った。
- ・これからは、弱い自分、ありのままの自分と正直に向き合い受け入れていこうと思いました。そして自分の意見だけを突き通さず、他人の意見を素直に聞き、自分で自分を好きになれるようにしたいです。

授業者より

「銀色のシャープペンシル」は、主人公の行動や葛藤に共感しながら読んでいくことが大切だと考えていました。主人公の心情や行動に自分自身を置き換えて考えている様子が見られました。「心の弱さに気づき向き合うこと」について深く考え、議論している様子を見取ることができました。今回の道徳を通して得た学びや刺激を、実生活の中で生かしていけるように働きかけていきたいと思えます。

◎ 2年生は、国際理解や国際貢献を考えることについて「六千人の命のビザ」を題材に考えました。

生徒のコメントより

- ・自分の安全と何千人もの命を天秤にかけ、命をとりました。何ができるかを考え、実際に命を救うことができる杉原さんをすごいと思いました。汽車の中で杉原さんが頭を下げたところを読んで、心を打たれました。そのような人になれる努力をしたいです。
- ・人を助けるためにリスクを負うという決断を下し、それを貫き通せる杉原さんのような人間になりたい。
- ・ここまで自分を頼っている人々がいるなら、やらなかったら(ビザを発行しなかったら)後悔するだろうと感じました。
- ・「いじめにも似ていると思った。自分が助けたら、次はいじめられるのは自分かもしれないという自分を守る行動をとるのか、自分がやられるかもしれないけど良心に従って助けるのか。私は自分の良心に従える人になりたい。」
- ・自分の立場もなくなる覚悟でビザを書き続けるのは、人への思いやりが強い方だと感じました。
- ・ルールだけで物事を決めるのではなく、一人の人間として決めることが大切な時があるのだなと思った。
- ・「日本は技術面や文化など、誇れる部分があるけれど、一番は人間性の部分だと思う。私も自分の良心をもって生きたい。」
- ・自分の地位も大事だけど、それ以上に困っている人を助けることも大事だと思った。
- ・仕事としてではなく一人の人間として考えることも大切だと思いました。

授業者より

当時のユダヤ人にとってビザがどういうものかに触れてから、教科書を読みました。杉原千蔵さんという人物の立場に立って、彼が感じたであろう葛藤を想像し、自分だったらどんなことができるのかを考えました。「国際理解」「国際貢献」という難しい内容でしたが、話し合い活動を通して「自分だったら・・・」と考えを深め、様々な人の立場を考え、自分の生き方や考え方を学びました。



◎ 3年生は、**遵法精神**を考えることについて「**二通の手紙**」を題材に考えました。

生徒のコメントより

- ・規則をやぶって他の人を喜ばせることはできるけど、それをしたことで事故などにつながってしまうかもしれないから、しっかりと規則は守ろうと思いました。
- ・きまりや校則など、かたいイメージや面倒くさいイメージがあったけれど、今日の授業できまりは面倒くさいことではなくて、みんなの安全を守るためにもあるというのが分かりました。
- ・私は学校生活のなかで規則やルールを破ってしまうことがありました。しかし、今日の授業を受けて規則やルールはみんなが安心・安全に過ごせるためにあるにだと改めて分かりました。今日学んだことをこれからの生活に生かせるようにしたいです。
- ・法や規則を守ることで、お互いが気落ちよく過ごすことができることを改めて実感した。お互いが気持ちよく生活するために小さな規則でも守ろうと思った。
- ・私も規則や決まりをやぶったことがあります。その時は必ずちょっとなら良いかと油断しますが、そのちょっとが事件や事故につながるのかなと思いました。規則やきまりをちょっとではなくて、しっかりと守っていきたいと思いました。

授業者より

今回の授業では「**遵法精神**」がテーマでした。事情があれば規則を守らなくてもよい派と規則は守らなければ意味がない派の議論が活発に行われていました。規則があることで、人々が「**平等である**」、「**安全が保証される**」など、一人一人が規則のもつ意味について考えを深めることができていました。



200 字作文対策講座
(朝日中高生新聞 全文掲載)
2年生 女子生徒 11月14日号

10月31日号の課題

マスクが対人関係に与える影響について、身近な具体例やエピソードを挙げて、考えたことを書きましよう。

「愛想笑いのように見える」

私はマスクを着けることで、相手が心から笑っていないように感じることもある。

以前、友人と会話している時に愛想笑いをされていると思い、「笑いたくなかったら笑わなくていいんだよ」と言ったところ、「心から笑っているよ」と返された。マスクだと口周りの動きや笑い声をあまり感じ取れないため、人の気持ちがわかりにくい。

私自身も、言葉やジェスチャーを使い、気持ちをきちんと表現するように心がけたい。

★**九中生の活躍**★

・読書感想文 区佳作

1年生 1名 2年生 1名 3年生 1名

・税の標語

1年生 2名

荒川区教育長賞 受賞

2年生 1名 1年生 2名

荒川間税会 入選



ユニセフ活動

11月22日に生徒会本部役員が主催し「ユニセフ朝礼」を行いました。世界の貧困問題やユニセフの活動を紹介し、ユニセフ募金への呼びかけをしました。24日から26日の3日間で、25,208円が集まりました。皆さんの募金が困っている誰かのために使われます。地域の方々や校内で工事を行っている業者さん方からもご協力いただきました。ありがとうございました。

惑星観望会

11月10日の放課後、希望者を対象に惑星観望会を実施し、生徒・保護者合わせて20人程度の参加がありました。観望会では天体望遠鏡を使って金星や木星、土星といった惑星や月を観察しました。普段は観ることができない土星の輪やガリレオ衛星などを観察することができ、参加者からは感嘆の声があがっていました。



ブックフェスティバル（11月4日（木）～10日（水））

本校では毎年、図書委員会主催の「ブックフェスティバル」を行っています。生徒が本にふれる機会を増やすために図書委員の生徒が企画を考え実施するものです。今回は「読書ビンゴ」と「シークレット本」の二本立てで、普段は手に取らないジャンルの本に出会えるような工夫をしました。生徒の皆さんが本との出会いを通して様々な学びや発見があるように、今後も図書委員会では読書の推進活動に取り組みます。

読書ビンゴ



シークレット本



12月の予定

月	(曜)	給食	通常学級	夜間学級
1	(水)	○	45分 寺子屋 教育長訪問	面談 教育長訪問
2	(木)	○	[SC] 三者面談始	面談
3	(金)	○	長距離指導	面談
4	(土)	×		生徒会連合交流会（糀谷）
5	(日)	×		
6	(月)	○	[心理] 200字作文	
7	(火)	○		都教委訪問
8	(水)	○		朝学習：数学
9	(木)	○	[SC]	朝学習：数学 九中デー
10	(金)	○	三者面談終	朝学習：数学 安全指導
11	(土)	×	授業公開日	防災検定
12	(日)	×		
13	(月)	○	[心理] 朝礼 200字作文	避難訓練
14	(火)	○	避難訓練	
15	(水)	○	寺子屋	朝学習：英語
16	(木)	○	[SC]	朝学習：英語
17	(金)	○	JICA「よこそ青年海外協力隊」(3年)	朝学習：英語
18	(土)	×		
19	(日)	×		
20	(月)	○	[心理] 200字作文 夢・みらいプロジェクト(2・3年) 巡回相談員	
21	(火)	○	各種委員会	
22	(水)	○	寺子屋	
23	(木)	○	[SC] 45分 大掃除	大掃除 ③加ト
24	(金)	×	2学期終業式	2学期終業式
25	(土)	×		
26	(日)	×		
27	(月)	×	冬季休業日始	冬季休業日始
1/10	(月)	×	成人の日	
11	(火)	×	3学期始業式	3学期始業式

*給食の有無は通常学級です。

SC：
都スクールカウンセラー

心理：
荒川区心理専門相談員

・SC は出産準備のため、12/9までの勤務です。

夜間学級より

11月17日(水)～18日(木)の『期末考査』も終え、11月24日(水)に『清里移動教室』の代替行事の房総方面(鴨川シーワールド・鋸山・日本寺・海ほたる)に行って来ました。生徒にとっては初めての校外学習であり、借り上げバスを使って遠出するのも初めての体験でした。風が強クロプウェイが運休になってしまいましたが、見学場所はすべて見る事ができ、また天気もよく『最高の一日』でした。3年生はこれから自分自身の進路実現に向けて本格的に取り組むこととなりますが、その前にいい思い出ができて本当によかったと思います。そして受験後に予定されている「修学旅行」や、次年度の遠足・移動教室が予定通り実施されることを切に願っています。

